

8 不当請求に関する相談

不当請求に関する相談件数は、60,041件であり、前年度の3.4倍の相談件数に急増した。15年度の相談の最も大きな特徴がこの「不当請求」の増加である。14年度においても「不当請求」の増加は見られたが、15年度は社会問題と言えるまでに増加した。(図 - 13)

相談内容としては、「電話情報提供サービス」に分類される携帯電話に関連したものが圧倒的に多く、7割近くを占めている。「携帯電話に届いたメールにあったURLをクリックしたら登録料として高額な請求をされた」、「債権回収業者を名乗るところから身に覚えのない有料サイトの利用料金を請求された」等が代表的な事例である。この他には「フリーローン・サラ金」が多く、「身に覚えのない借金の督促が来た」等の事例が見られる。(表 - 52)

契約当事者の属性をみると、性別では、男性のほうが多く、74.8%を占める。年代別では、29歳以下の「若者」が48.1%、30歳～59歳の「壮年」が47.3%とほぼ同程度の割合を占めている。職業別では、「給与生活者」が最も多く、約7割を占めている。平均請求金額は「19万4千円」で、前年度より8万3千円減っている。(表 - 53)

図 - 13 不当請求に関する相談件数の推移

単位：件

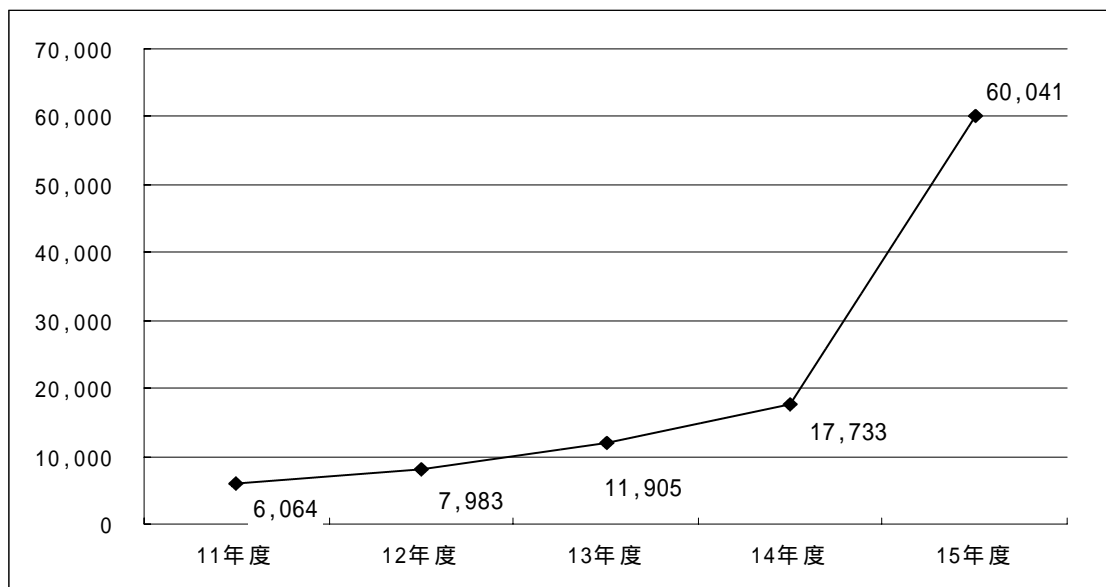


表 - 52 不当請求商品・役務別相談件数

単位：件

商品・役務名	15年度	14年度
1 他の運輸・通信	48,751	8,330
オンライン等関連サービス	48,647	8,212
電話情報提供サービス	39,561	7,502
オンライン等関連サービスその他	5,680	13
オンライン情報サービス	3,197	549
その他	104	118
2 融資サービス	3,902	1,613
フリーローン・サラ金	3,829	1,582
その他	73	31
3 レンタル・リース・貸借	1,131	1,671
賃貸アパート	807	1,225
レンタルビデオ	230	293
その他	94	153
4 商品一般	2,661	242
5 教室・講座	497	270
資格講座	330	136
外国語・会話教室	16	42
ビジネス教室	45	28
その他	106	64
6 電報・電話	482	2,767
移動電話サービス	192	180
国際電話	145	2,438
その他	145	149
7 役務その他	349	278
広告代理サービス	61	88
興信所	41	15
その他	247	175
8 役務一般	261	63
複合サービス会員	254	62
その他	7	1
9 書籍・印刷物	243	701
紳士録・名簿	119	142
雑誌	45	269
その他	79	290
10 他の教養娯楽品	189	25
種子	137	-
その他	52	25
その他	1,575	1,773
計	60,041 (37.3%)	17,733 (15.6%)
全相談件数	160,817 (100.0)	113,570 (100.0)

表 - 53 不当請求相談内容別件数

単位：件

項目	15年度	14年度
相談件数	60,041	17,733
性別		
男性	43,499	10,672
女性	14,629	4,758
団体	328	477
不明	1,585	1,826
年代別		
若者(29歳以下)	26,675	5,508
壮年(30～59歳)	26,194	7,925
高齢者(60歳以上)	2,563	1,291
不明	4,609	3,009
職業別		
給与生活者	36,152	8,693
自営・自由業	2,212	880
家事従事者	3,726	1,670
学生	8,748	1,676
無職	2,464	1,086
その他・不明	6,739	3,728
支払方法別		
信用供与無		
現金払	42,303	10,474
他の前払式	25	27
不明	9,124	3,422
小計	51,452	13,923
信用供与有		
自社割賦	16	27
総合割賦	180	157
個品割賦	169	278
その他	61	74
不明	60	80
小計	486	616
その他		
借金契約	3,351	1,518
不明・無関係	4,752	1,676
平均契約金額(千円)	194	277
平均既払金額(千円)	34	68
主な相談内容		
ポルノ・風俗	22,265	3,455
インターネット	18,319	3,731
債権回収業者	14,898	3,355
高価格・料金	9,868	2,804
強迫	9,133	1,222
遅延金	5,379	1,697
未成年者契約	5,160	702
詐欺	3,769	392
強引	2,574	791
無料商法	2,433	356